

3年2組 いきいきタイム学習活動案

場 所 3年2組教室
児 童 男子15名 女子16名 計31名
指導者 種市 優香

1 単元名 「伝えよう 矢巾町」

2 単元の目標

- (1) 社会科で学習したことや総合の前単元「見たい、知りたい、わたしたちの町」で学習したことをもとに、矢巾町の良さが紹介できそうな場所について関心をもち、進んで調べたり体験したりしようとする。
(総合への関心・意欲・態度)
- (2) ビデオを視聴したり、「矢巾町」という言葉からの話し合い活動をしたりして、個人課題を設定することができる。
(課題設定の能力)
- (3) 課題を解決するために、友達と協力して取り組むことができる。
(協力、協調して活動する能力)
- (4) 自分たちが考えた追究活動計画に沿って、調べたり体験したりすることができる。
(問題解決の能力)
- (5) 調べたり、体験したりして分かったことを自分なりの方法でまとめ、発表することができる。
(学習活動にかかわる技能・表現力)
- (6) 自分たちの地域を調べ、手紙などを書く活動を通して、地域の良さに気付くことができる。
(自己の生き方を考える能力)

3 単元について

(1) 設定の理由

本単元は、3年生になってから3つ目の総合の単元である。前単元「見たい、知りたい、わたしたちの町」では、社会科の学習をベースにしなが、調べる対象を農産物に限定して、米や野菜、りんご等を切り口に調査活動をした。そして、農業を中心とした矢巾町の特色や地域の良さについて考えてきた。

本単元では、その調べる範囲を広げ、観光スポットや地域の公共施設などに視点を変え、矢巾町の良さを調査していく。その活動を通して、さらに矢巾町の特色や地域の良さについて考えを広げることができるであろうと考え、本単元を設定した。また、家族や他の地域に住む知人に矢巾町の良さを伝えるという発信の活動も組み入れることで、より矢巾町のよさを自覚し、地域を愛する心情を養うことができると考えた。

(2) 児童について

1学期の総合の学習「見つけよう、歯のひみつ」では、初めての総合的な学習ということで、染め出しの体験から様々な課題をつくることができ、単元全体を通して意欲的に学習することができた。特に「さぐる」段階では、休み時間に自主的に図書室に資料を探しに行ったり、分からないことを歯医者さんに質問したりするなど、積極的に調べ活動に取り組んでいた。また、「いかす」段階でも、身近な歯のことだけに、調べたことをもとに、今後の自分の生活の中でどう役立てていけばよいか考えることができた。

総合的な学習の時間における学級の児童の特徴として、どんな活動にもたいへん積極的に取り組む児童が多いことが挙げられる。自宅から調べ学習に必要な図鑑を何冊ももってきたり、週末に「家でこんなことを調べてきたよ!」と教えてくれたりする児童もいる。自分が調べたいことや発表したい方法を進んで決定し、発表の際もはっきり堂々と話す児童も数人見られる。しかし、自分の考えを押し通したい余りに、グループ内でトラブルが生じたり、グループリーダーが自分

だけの考えで活動を進めたりすることもあった。また、調べたことを発表する場面では、役割分担をして練習していても、声が小さくてははっきり聞こえなかったり、速すぎて何を言っていたのかわからなかったりする児童もいた。

従って、児童に周りと協調しながら活動を進める力、自分の考えや意見を、自信を持って話す力や、感想交流場面で、終始発表の仕方について感想を述べるに留まらず、発表の中身に触れた感想や質問を述べる力を、本単元を通して身につけさせる必要があると考えている。

(3) 指導にあたって

本単元では、1学期に学んだ学び方に沿って学習を進めていくのはもちろんであるが、前単元「見たい、知りたい、わたしたちの町」で学習した地域の方へのインタビューの仕方や、見学の仕方もしっかりしながら、自主的に学習を進めていくことを期待したい。そして、自分たちが調べたことを友達に分かりやすく伝えるための発表資料の作成の工夫や、矢巾町のよさを家族や他地域に住む知人に伝える活動にも重点を置き、自ら発信していくことにも挑戦させていきたい。

「つかむ」段階では、他の市町村の良さをアピールしているビデオを見せることから、矢巾町ではどんな所が自慢できるだろうかということを見学に話し合わせ、課題づくりにつなげる。社会科の学習で学んだ公共施設や観光スポットを切り口に調べていけるよう課題をつくらせ、もし多様な考えが出た場合は内容を精選したい。

「さぐる」段階では、見学やインタビューができるように地域の方にもご協力をいただきながら進めていく。なかなか見学に行けない場所については、電話インタビューという経験をさせてみたいと考えている。また、国語科で学んだインタビューの仕方を想起しながら、調べたいことを聞いたり、大事なことをメモしたりすることができるように指導していきたい。

「まとめる」段階では、自分たちの調べたことが矢巾町の自慢になるように、アピールの仕方を考えさせ、他のグループの児童が「行ってみたい。見てみたい。」と思ってもらえるような工夫をさせたい。そのためには、一番伝えたいことをしっかりおさえて、発表するように指導していきたい。発表を聞く時は、中身に重点を置いて聞かせるようにしたい。また、行ってみたい度指数などで表してみたりするなど友達の発表の仕方を楽しく聞き、評価し合う工夫をさせてみたい。また、国語科で学んだ発表の仕方を思い出しながら、声の大きさや話す速さに気をつけて、相手にわかりやすく伝えられるように、練習の時間を設定する。

「いかす」段階では、家族や他地域に住む知人に矢巾町の良さを手紙で伝える活動を通して、矢巾町の良さをさらに自覚し、郷土を愛する心情を養っていきたい。また課題のつくり方、グループでの追究の仕方、まとめ方や発表の仕方など学習を通してどんな成果があったのか、学習スキルの面からも振り返らせ、次の総合の学習へ生かしていけるようにしたい。

| 段階 | 予想される児童の活動 | 時間 | 児童の活動を支援するための手だて | 評価の観点と評価計画 | 活動形態 |
|------|--|----|--|--|--------------|
| つかむ | 1. ビデオを見て、矢巾町の良さが紹介できそうな場所を考え、調べたい場所を決める。 | 1 | ・観光スポットや公共施設等の観点で紹介したビデオを用いて児童にとっても考えやすいようにする。 | ・ビデオから矢巾町の良さが紹介できそうな場所を考えたか。 【観察】 ・自分で調べてみたい場所を決めることができたか。 | ・全体 ・個人 |
| | 2. 課題を類型化し、学習グループを決める。 | 1 | ・友達の課題を聞きながら課題の作り方を学ぶとともにだれの課題と共通しているのかを、考えるようにさせる。 | ・学習グループをうまくつくることができたか。 | ・全体 ・グループ |
| | 3. 課題の解決方法を考える。 | 1 | ・学習グループで何を調べるか、何をを使って調べるのか計画を立て、見通しをもてるようにする。 | 【自己評価カード】 ・課題解決の方法を見つけたり選んだりして計画を立てることができたか。 【ワークシート】 | ・全体 ・グループ |
| さぐる | 4. グループごとに課題を追究する。 | 6 | ・安全面に配慮してボランティアの方にもご協力していただいて、見学やインタビューに出かける。 | ・自分たちの課題に沿って、質問したり調べたりすることができたか。 【ワークシート】 | ・グループ |
| まとめる | 5. 発表の準備をする。 ・ビデオ・新聞・紙芝居 ・ポスター・ニュース ・ペープサート・劇 など | 5 | ・自分の調べた場所のよさを紹介するにはどんな発表がふさわしいのかを考えさせる。 | ・発表方法を選びそれに従って活動していたか。 | ・グループ |
| | 6. 発表会をする。 | 3 | ・役割分担をし、発表の練習をする機会を設ける。 ・話す側と聞く側にきちんと視点を与えるようにする。 | 【自己評価カード】 ・自分たちの発表の仕方を振り返る事ができたか。 【自己評価カード】 ・他のグループのよさを見つけることができたか。 【ワークシート】 | ・全体 |
| かす | 7. 矢巾町の良さを伝える手紙を書く。 | 2 | ・家族や矢巾町以外の市町村に住む知人にあて、矢巾町のよさを手紙にし、さらに地域のよさを自覚できるようにする。 | ・自分の言葉で矢巾町のよさを伝えることができたか。 【手紙】 | ・個人 |
| | 8. 今までの活動を振り返り、学習のまとめをする。 | 1 | ・発表資料などを自由に見られるように掲示を工夫する。 | ・自分の活動を振り返り、学習の成果を振り返ることができたか。 【自己評価カード】 | ・個人 |

5 本時の学習活動

- (1) ねらい ・矢巾町の良さを紹介できそうな場所を探ることができる。
 ・自分が調べてみたい場所を決めることができる。

(2) 展開

| 段階 | 学 習 活 動 | 時間 | 教師の支援(＊)と評価() |
|------------------|---|----|---|
| か む | <p>矢巾町の自慢になる場所を ～こんなすてきな所が あるよ!～</p> <p>自慢をしていくことだと知 らせる。 2．本時のめあてを確認する。</p> | 12 | <p>*観光スポットや公共施設等の観点で紹介したビデオを用 いて児童が考えやすいようにする。 *児童の反応に応じて、矢巾町のPRビデオも視聴させる 。</p> <p>*矢巾町以外に住む友達や親戚に矢巾の魅力や、また家族 に改めて矢巾の良さを伝えるのだという相手意識を持た せるようにする。</p> |
| さ ぐ る | <p>3．矢巾町の自慢になるような 場所はないか、考える。【 全体】 矢巾町の自慢になるような ところはないかな。</p> | 15 | <p>*児童の思いやつぶやきを大切にしながら、矢巾町の自慢 になりそうな場所が考えやすいように、板書を工夫する。 *たくさん考えが出た場合は、矢巾町にしかないもの、矢 巾町ならではのものに目が行くように、対象を絞りこんで いく。 矢巾町の良さを紹介できそうな場所を探ることができて いるか。</p> |
| ま と め る | <p>4．矢巾町の自慢になる場所を 整理する。【個人】 自分は矢巾町ならではのどこ を調べていきたいかな。 どうして自分はそこにしたか 、理由も考えて、書いてみ よう。 5．発表し合う。【全体】</p> | 15 | <p>自分が調べてみたい場所を決めることができているか。 *お互いの考えを発表し合うことで、なかなか考えがまと まらない児童、思いつかない児童の参考とさせたい。 *話の中心・筋道に気をつけて話すこと、自分の考えとの 相違に注意しながら聞くことを意識させる。</p> |
| い か す | <p>6．今日の学習を振り返る。 7．次時への見通しを持つ。</p> | 3 | <p>*次の時間は、調べたい場所別にグループを決めるという ことを伝える。</p> |